

## 目黒区自立支援協議会主催 イベント企画（案）

---

### 目的

障害をしる→興味をもってもらう→考えてもらうため、関係者ではなく近隣住民のイベントへの集客は大前提で重要。しかし、本質的な目的はこのイベントの参加者が自然発生的に周囲を巻き込んだり、拡散したくなるくらい「ファン」になってもらうことが重要。イベントが地域とともに育ち、共生社会の実現のためのキッカケ。

# 集客 < ファン < 共生社会

- ▶「知る」「興味をもつ」「考える」キッカケを促す。つながりのキッカケをつくるプラットフォーム。
- ▶プラットフォームとしてのイベント骨子は固定し、運営の合理化をはかる。
- ▶複数年かけてイベントを地域の中で育てる。

# 地域密着、 超参加型イベント。

- ▶地域の企業、団体、個人等が主役になり参加ができる。
- ▶スポーツ、アート、音楽など一般参加者も参加しやすい企画を複数あつかう。
- ▶若年層が参加しやすい設備、運営、配慮を検討。

## ターゲット

この機会を通じて「知る」「興味をもつ」「考える」を促進していくために不特定多数の近隣住民の参加が本来あるべき姿。  
地域と共に育つイベントとして、その姿を中長期的な目標とし、イベントの初期段階では拡散能力の高い若年層をメインにターゲットとしていく。

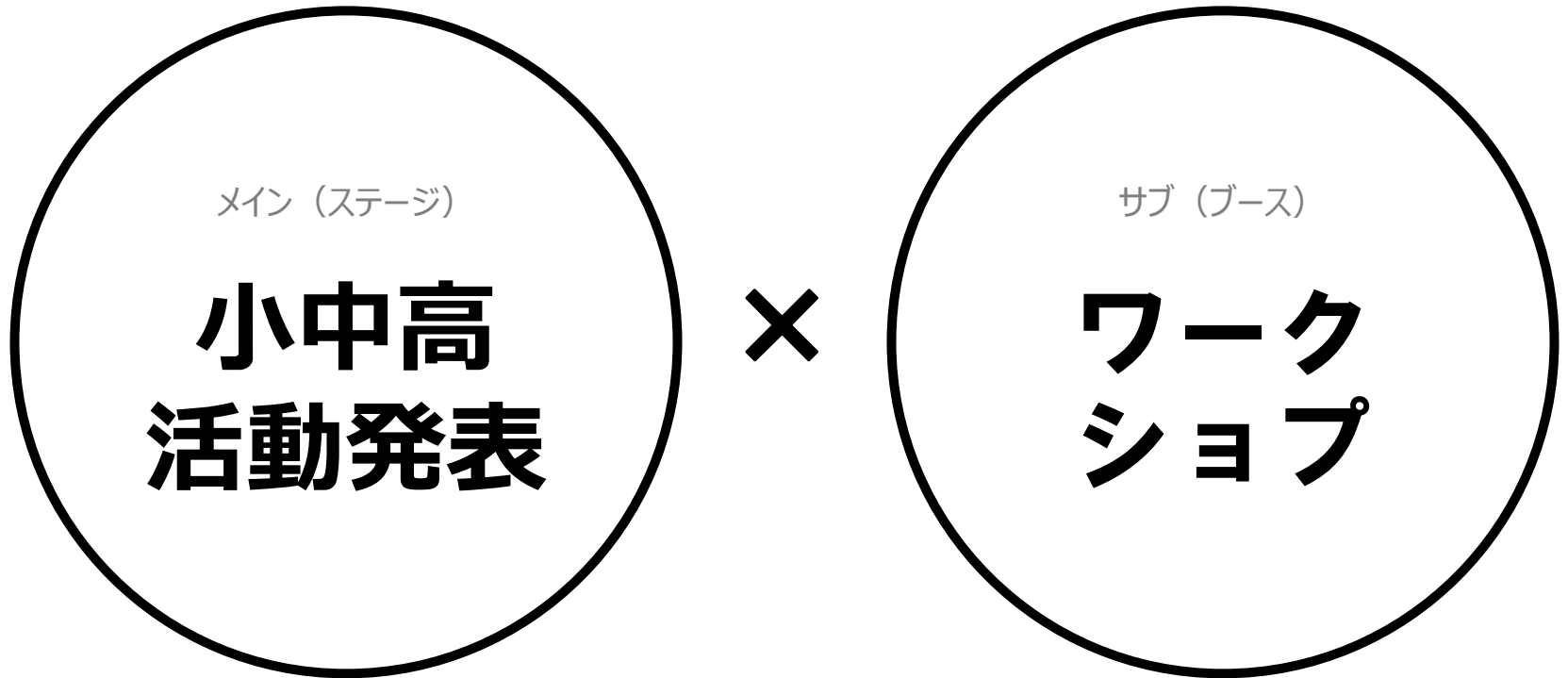
# 若年 < ファン < 不特定多数

- ▶ 地域の「障害」に対する理解を深めるために、まずは「知る」という流れをつくる。
- ▶ イベントの存在が拡散されることで目黒区の「福祉」をしってもらう。
- ▶ 地域住民にグループホームや医療的ケアの理解をはかりやすい流れをつくる。

【地域密着、超参加型イベントとしての基本戦略】

---

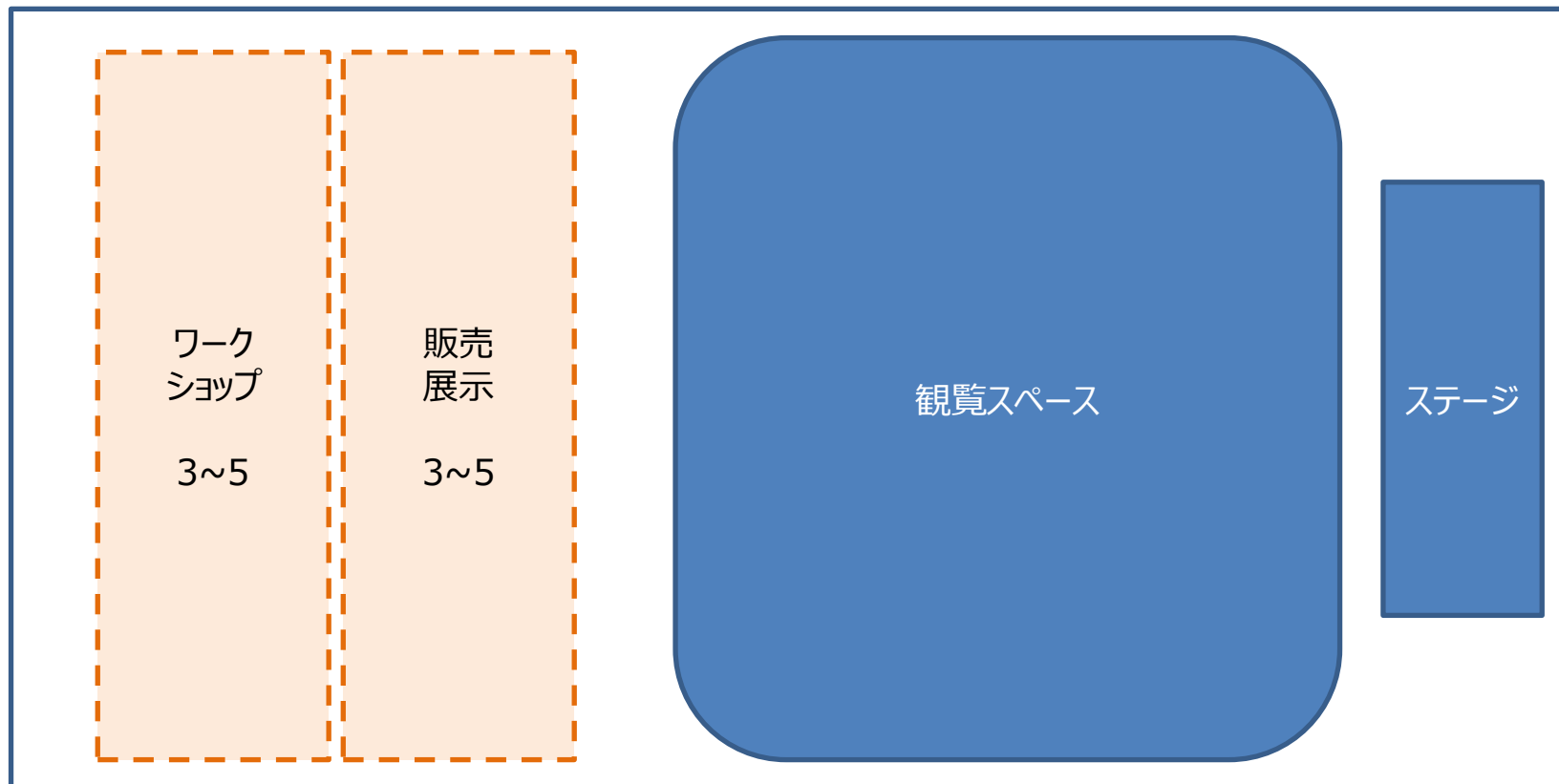
「知る」「興味をもつ」「考える」が生まれる。つながりがはじまるキツカケ。



若年層が主役として参加できるメインステージと、障害に関連する企画を混合しながらワークショップ型の企画を複数展開するサブ（ブース）で会場を構成。

【地域密着、超参加型イベントとしての内容】

「知る」「興味をもつ」「考える」が生まれる。つながりがはじまるキツカケ。



若年層が主役として参加できるメインステージと、  
障害に関連する企画を混合しながらワークショップ型の企画を複数展開するサブ（ブース）で会場を構成。

サブブース（スポーツ、アート、音楽、カフェ、障害等々）

---

## ワークショップ型企画ブース

主催：HIS

**バリアフリーな旅行プランをつくろう！**

主催：〇〇〇〇〇

**地域の防災を考えよう！被災者が教える意外と役立つグッズBest10。**

主催：〇〇〇〇〇

**あなたも気軽にモデル体験！**

主催：〇〇〇〇〇

**パラリンピックを体験しよう！**

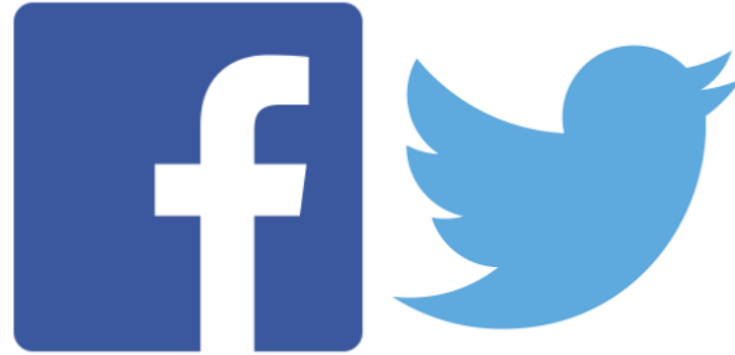
イベントテーマ (決定)

---

**つながろう、メグロ。**



## SNSを活用し拡散作戦。



11月に原案用意し早めに広報活動が行える  
よう準備をすすめる。